

# T T C 提案山行実施記録表

2019. 10. 28 報告者 : Y. S

<b>山行名</b>	笠取山 (1,953m) ~ 燕山 (2,004m) ~ 古礼山 (2,112m) ~ 水晶山 (2,158m) ~ 雁坂峠 (2,082m) <span style="float: right;">山梨県</span>						
<b>実施日</b>	2019年10月26日(土) ~ 27日(日) 1泊2日 マイカー & 公共交通機関利用						
<b>天候/参加人員</b>	天候 10/26: 晴れ 10/27: くもりのち晴れ レベル: ★★★ 参加人員 9名						
<b>スタッフ</b>	省略						
<b>参加メンバ</b>	省略						
<b>費用</b>	車使用料(@10×180 km) 1,800 円、燃料代(@140×180 km/5ℓ) 5,040 円、ドライバ謝礼(@5,000×2 日) 10,000 円、高速道路代行き(圏央厚木~相模原・相模湖~勝沼) 1,700 円、高速道路代帰り(勝沼~圏央厚木) 1,850 円、タクシー代(塩山~新犬切峠) 10,460 円、バス代(西沢溪谷入口~塩山駅@1,050×9 人) 9,450 円 小計 40,300 円 支出計: 交通費 40,300 円 + 小屋泊費(@7,000 円×8 人) 56,000 円 + テント泊費 500 円 = 96,800 円 集金額: 小屋泊(@11,500 円×8 人) 92,000 円 + テント泊 5,000 円 = 97,000 円 カンパ金: 200 円						
<b>歩行/行動時間</b>		10月26日(土)			10月27日(日)		
		歩行時間	休憩時間	行動時間	歩行時間	休憩時間	行動時間
	計画	4:45	1:05	5:50	6:40	1:00	7:40
	実行	4:05	1:35	5:40	6:55	1:00	7:55
<b>実行タイム</b>	<b>10月26日(土)</b> 本厚木 6:40 == 圏央厚木 == 相模原 = 相模湖 = 勝沼 = 8:40 塩山駅(塩山タクシー) 9:00 == 9:35 新犬切峠 9:50...10:35 作場平 10:45...12:15 ヤブ沢峠 12:45...13:05 笠取小屋 13:20...13:35 三川分水嶺 13:40...13:55 水干 14:00...14:30 笠取山 14:45...15:30 笠取小屋 <b>10月27日(日)</b> 笠取小屋 6:25...7:50 燕山...8:50 古礼山 9:00...9:40 水晶山 9:45...10:25 雁坂峠 10:35...11:35(井戸沢崩落・久渡沢手前幅 5m 渡渉・久渡沢滑・無名沢残置ロープ) 13:00...13:15 沓切沢橋 13:20...14:00 道の駅みとみ 14:10...14:20 西沢溪谷入口バス停 14:40 == 15:40 塩山駅・塩山タクシー 16:05 == 16:15 内田フルーツ農園 16:25 == 勝沼 == 圏央厚木 == 20:20 本厚木 * 両日とも 40 分前後歩いて 5 分休憩(うち 3 回に 1 回程度は 10 分休憩)						

## コースの概要・特記事項・反省事項等

### 台風の影響

- ・10/24、K 氏から林道通行止めの情報を得た。おいらん橋から今回の登山口となる三ノ瀬間だ。
- ・この通行止めは山梨県の林道通行規制には出ていない、登山者のブログ情報からだ。
- ・急遽、新犬切峠(ここも作場平まで道路崩落により通行止め)からスタートし、唐松尾山をカットする計画に変更した。
- ・10/25am、笠取小屋と雁坂小屋に問い合わせをしたが、詳細な登山道情報は得られなかった(この日は大雨)。
- ・10/25pm、天気は 26 日晴れ、27 日くもりの予報、19 時に実施の最終判断を行った。
- ・大幅な登山道崩壊や増水時(基本撤退)を想定して準備した。
- ・10/26、現地の平地や山域の河川の水量を目視。濁っていない、増水していない、ことを確認し入山を決めた。

### コースの概要

- ・作場平~ヤブ沢峠~笠取小屋は、緩やかな傾斜で歩きやすく、森の中の溪流がきれいだった。
- ・笠取小屋~笠取山では、甲武信ヶ岳、乾徳山、冠雪の南アルプス、冠雪の富士山、御坂山塊、丹沢山塊、大山、大菩薩嶺、三頭山などが良く見えた。
- ・笠取小屋~雁坂峠も歩きやすく、昨日の同定以外では日光連山、両神山が良く見えた。
- ・雁坂峠からの下山路は紅葉を観ながら急坂もなく総じて歩きやすかった。
- ・井戸沢は崩落した石で渡りにくかった。また、久渡沢手前で右岸から左岸に渡る時は、登山靴を脱いで、膝まで浸かる冷たい渡渉となった(増水時は渡れない)。なお、久渡沢は滝壺の上が広く平らな岩盤となっているが、それよりも上部が安全な渡渉点なので要注意。

以上